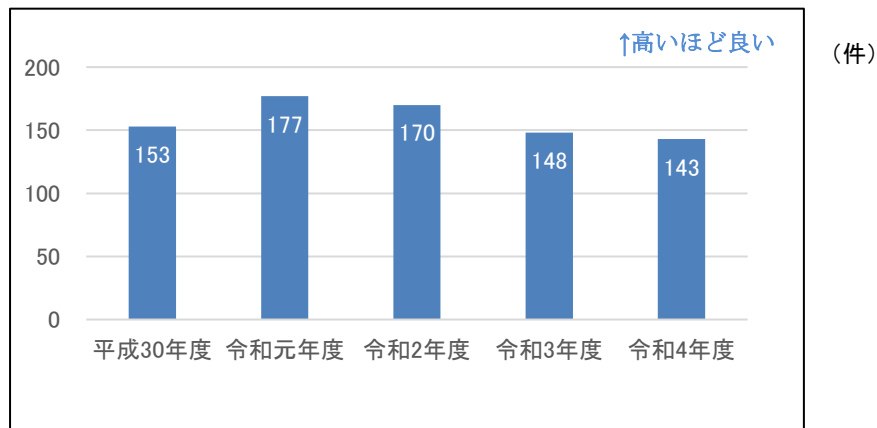


12 新生児特定集中治療室(NICU)実患者数

○項目の解説

新生児特定集中治療室(NICU)とは、低体重児や早産児、先天性障害のある新生児を集中的に治療する病床です。新生児集中治療専門の医師と看護師が、24時間体制で保育器の中の新生児を治療します。病院内外から重症の新生児を受け入れ、集中的な治療を行う意味で、産科小児科領域の医療の「最後の砦」ともいわれ、NICU実患者数は周産期医療の質と総合力の高さを表現しているものといえます。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

平成22年度の増床以来、NICU入院患者数は増加傾向で推移していましたが、令和2年度から減少傾向にあります。全国的な少子化の影響でNICU入院患者数が減少傾向にあり、当地区でも同様な結果になったと分析しています。全体の入院数は減少傾向にあるものの、当院でしか提供できない医療を必要とする先天異常児などの入院が増えており、当院の役割はより増していると考えています。当院は、道北地区の早産児および外科的治療を必要とする新生児および体外循環などより、高度な医療を必要とする児を受け入れています。今後も、本地区の新生児医療の最後の砦としての機能をしっかりと守り、体制を維持発展させ地域周産期医療に貢献するとともに、赤ちゃんご家族が安心して子育てできる支援を継続していきます。

○定義

DPCデータを元に算出した、医科診療報酬点数表における、「A302 新生児特定集中治療室管理料」及び「A303-2 総合周産期特定集中治療室管理料-新生児集中治療室管理料」、「A303-2 新生児治療回復室入院医療管理料」を算定する新生児特定集中治療室(NICU)にて集中的に治療を行った実人数です。(延べ人数ではありません。)

○算式

実数